



**Viewer manual**

*by SparxSystems Japan*

Enterprise Architect 読み込み専用版(Viewer) 利用マニュアル



## 内容

1	はじめに .....	3
2	インストールの手順.....	3
3	起動の手順 .....	6
4	Enterprise Architect のプロジェクトファイルを開く .....	7
5	内容を参照する .....	8
5.1	プロジェクトブラウザを利用する.....	8
5.2	ダイアグラムを開く.....	9
5.3	便利な機能.....	10

## 1 はじめに

このマニュアルは、Enterprise Architect 読み込み専用版(Viewer)をインストールし、既存の Enterprise Architect プロジェクトファイルを参照するまでの手順を示したマニュアルです。

Enterprise Architect のプロジェクトファイルは、拡張子「.EAP」のファイルです。このファイルの内容を参照する場合に、この Enterprise Architect 読み込み専用版(Viewer)を利用します。

**インストールには管理者権限が必要です。管理者権限を持つユーザー(Administrator など)でインストールしてください。**

この Enterprise Architect 読み込み専用版(Viewer)が動作する環境は以下の通りです。

- Windows 2000 日本語版
- Windows XP 日本語版
- Windows Vista 日本語版
- Windows 7 日本語版
- Windows Server 2003 日本語版
- Windows Server 2008/2008 R2 日本語版

いずれの環境でも、最新のサービスパックを適用してください。

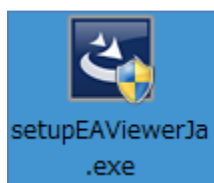
なお、以下の Enterprise Architect がすでにインストールされている環境では、この読み込み専用版をインストールした場合の動作保証はありません。

- Enterprise Architect 日本語製品版/評価版
- Enterprise Architect 英語製品版/評価版
- Enterprise Architect Viewer 英語版

上記のインストール済みの該当製品で、Enterprise Architect のプロジェクトファイルを開くことができます。この読み込み専用版をインストールすることが必要な場合には、該当製品を事前にアンインストールしてください。

## 2 インストールの手順

インストーラーを起動するためには、次のようにして行います。



**setupEAVViewerJa.exe** という名前のファイルが、ダウンロード時に指定したフォルダにあります。このファイルをダブルクリックしてください。

最初に、以下のような画面が表示されます。

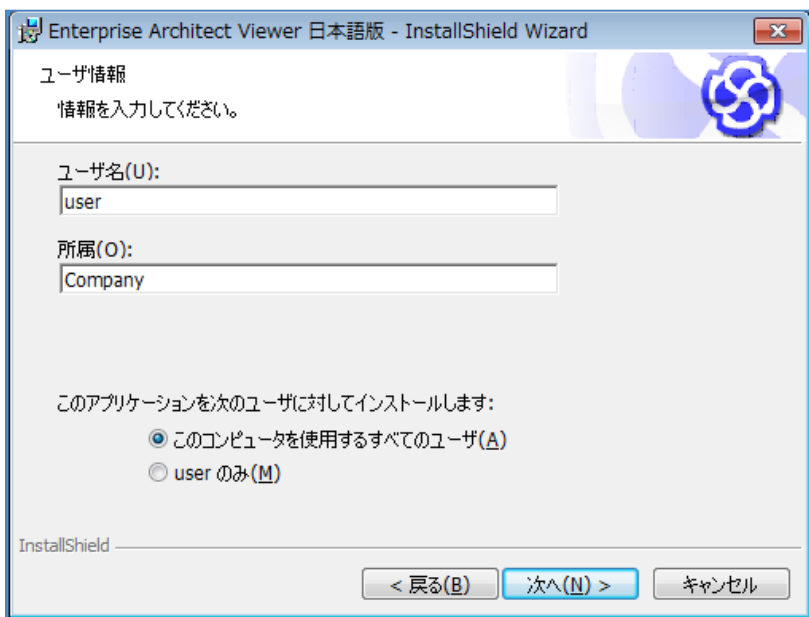


この画面では、「次へ」のボタンを押してください。次に、ライセンス条件の確認画面が表示されます。



内容を確認して問題がなければ、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択して、「次へ」ボタンを押してください。次のページが表示されます。ライセンス規約に同意できない場合には、インストールすることはできま

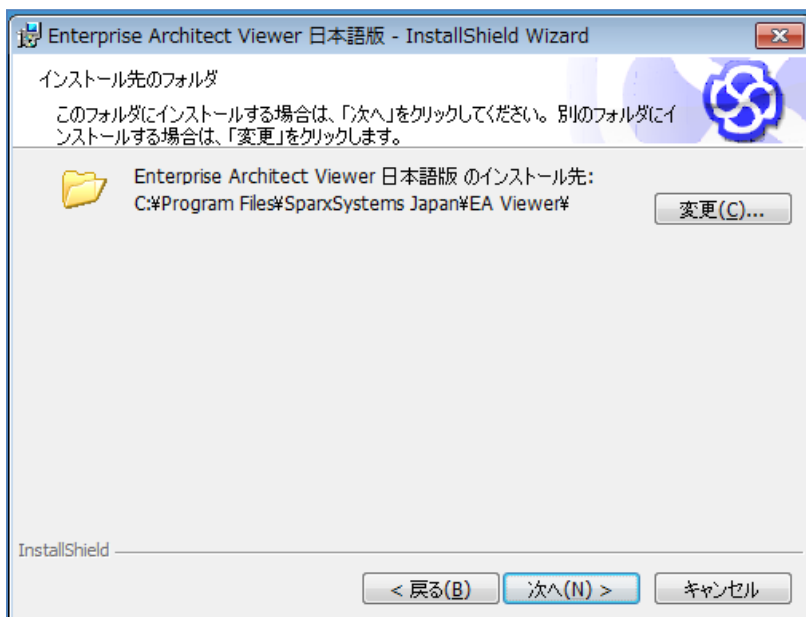
せん。



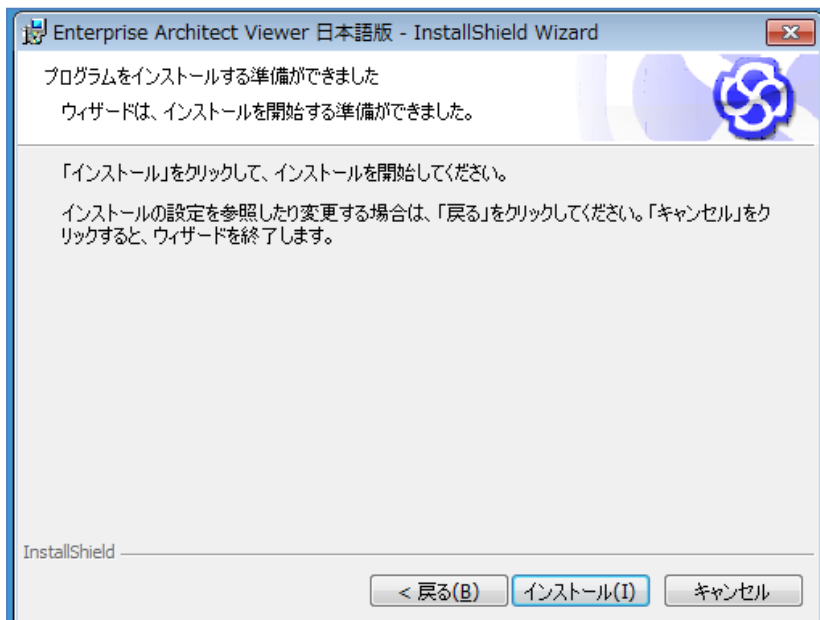
この画面では、使用者の名前と所属の入力を行います。また、インストールした Enterprise Architect を、同じマシンの利用者が利用できるかどうかの設定も行います。既定値では、インストールするマシンの全ての利用者が利用できるような設定になっていますので、必要に応じて変更してください。入力が完了したら、「次へ」を押してください。

なお、Windows XP Home Edition では、「このコンピュータを使用するすべてのユーザ」の項目を選択すると、Windows のアクセス権限の関係でインストール途中でエラーになる場合があります。この場合には、「(ユーザ名)のみ」の項目を選択してインストールしてください。

次に、インストールするフォルダを指定します。



既定値では、Windows がインストールされているドライブ(通常は C:)の Program Files¥SparxSystems Japan¥EA Viewer(32bitOS の場合)にインストールされます。通常はこの位置で問題ありません。設定後、「次へ」ボタンを押すと、次の画面に進みます。

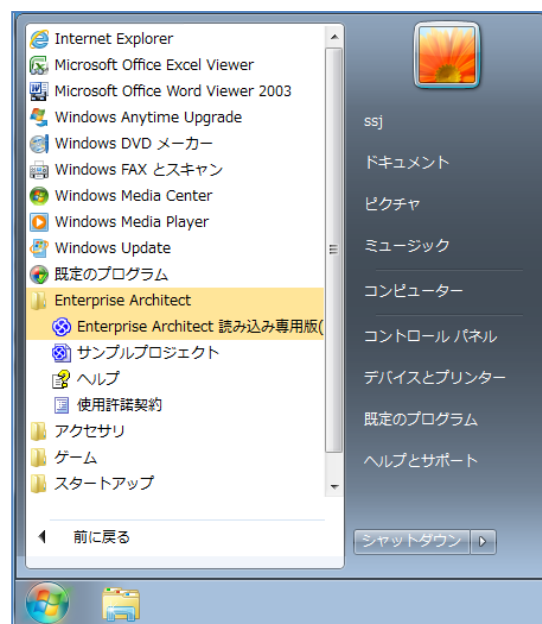


この画面は確認のための画面なので、そのまま「インストール」ボタンを押してください。インストール処理が始まります。インストールするマシンの性能や状況に応じて1分から数分程度かかります。

### 3 起動の手順

インストールが完了したら、スタートメニューから起動することができます。「プログラム」の中の、Enterprise Architect グループを選択してください。Enterprise Architect 読み込み専用版(Viewer)という項目がありますので、これを選択すると Enterprise Architect 読み込み専用版(Viewer)が起動します。

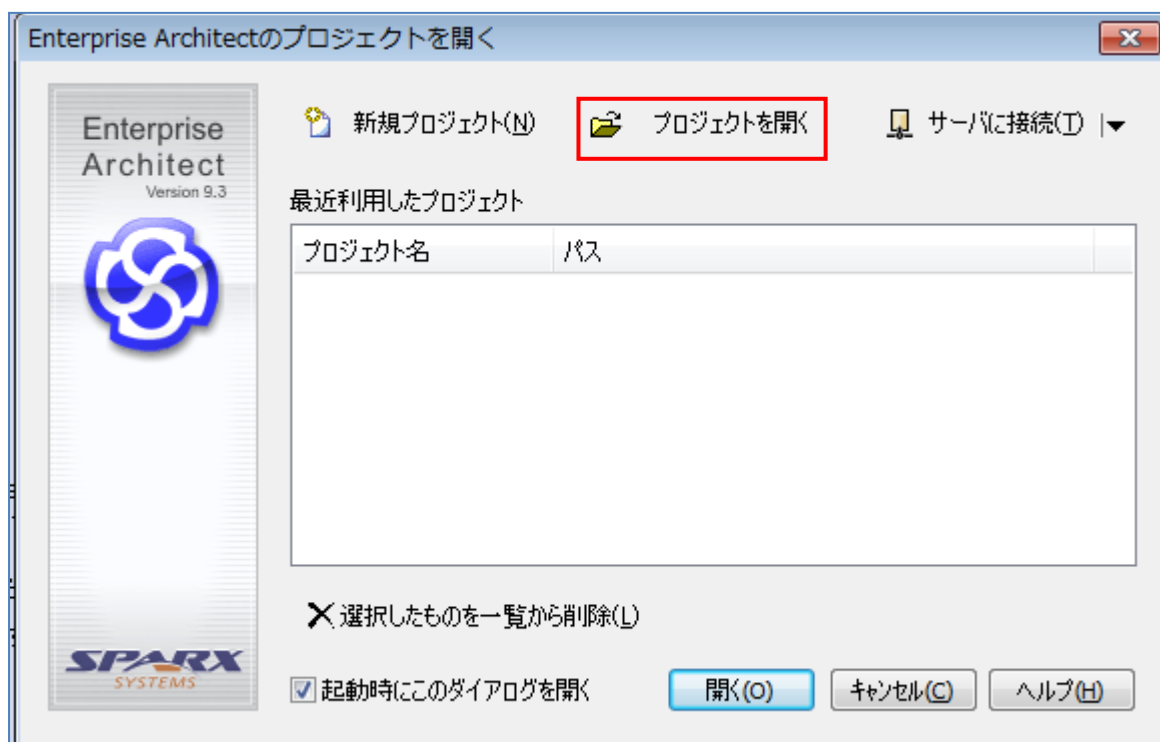
あるいは、デスクトップ上の「Enterprise Architect Viewer」というアイコンをダブルクリックしても起動します。



## 4 Enterprise Architectのプロジェクトファイルを開く

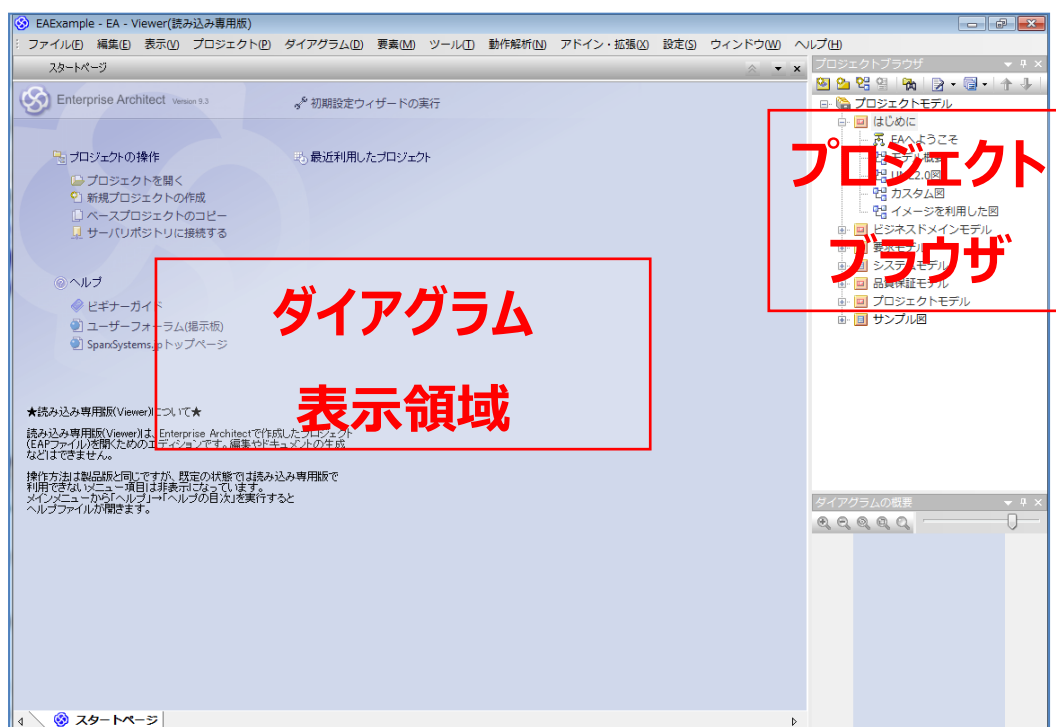
起動すると、次のような画面が表示されます。以前に Enterprise Architect のプロジェクトファイルを開いたことがある場合には、画面中央の「最近利用したプロジェクト」欄にプロジェクトファイル名が表示されています。項目をダブルクリックすることで、そのファイルを開くことができます。

開きたいファイルが一覧に表示されていない場合には、画面中央上部の「プロジェクトを開く」ボタンを押して、対象のプロジェクトファイル(拡張子:.EAP)を指定してください。このボタンは、下の図では赤枠で表示しています。



ファイルを開くと、この「Enterprise Architect のプロジェクトを開く」画面が閉じます。

Enterprise Architect の全体の画面は、以下のようになります。このドキュメントでは、中央の大きな領域を「ダイアグラム表示領域」と呼びます。右上のツリー上に情報が保存されている領域を「プロジェクトブラウザ」と呼びます。



## 5 内容を参照する

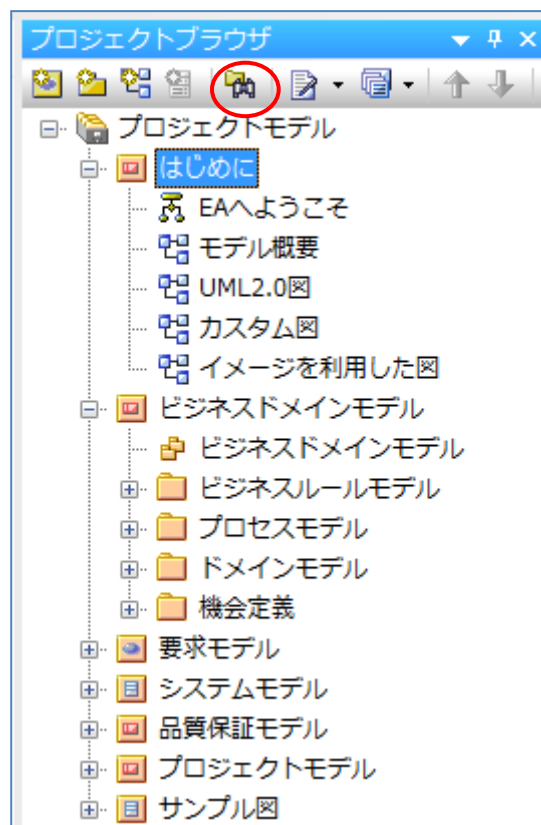
### 5.1 プロジェクトブラウザを利用する

多くのプロジェクトファイルでは、ファイルを開いた段階ではダイアグラム表示領域に何も表示されません。これから説明する方法で、「プロジェクトブラウザ」の内容を探索し、ダイアグラムを開く必要があります。

もし、プロジェクトファイルに初期設定を行ってある場合には、特定のダイアグラム(図)が開く場合もあります。この場合には、そのダイアグラムに説明が書かれていたり、他のダイアグラムへのリンク(ショートカット)が含まれたりすることがあります。

プロジェクトブラウザには、一例として右図のような内容が表示されます。基本的には、「パッケージ」と呼ばれるフォルダに、ダイアグラム(図)と、ダイアグラム内で利用されている要素が格納されています。この構成は、Windows のフォルダとファイルの関係とよく似ています。

多くの場合には、パッケージの名前にはその内容を示すような名前が設定されています。また、ダイアグラムについても、その図の内




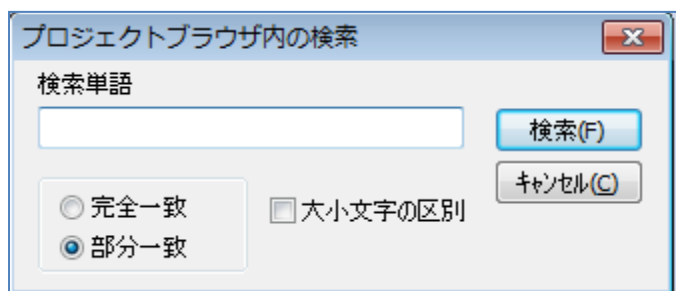


内容を端的に示す名前が設定されています。ですので、このプロジェクトブラウザ内で、パッケージ内を探索し、興味のあるダイアグラムを開くことで、内容を参照できます。

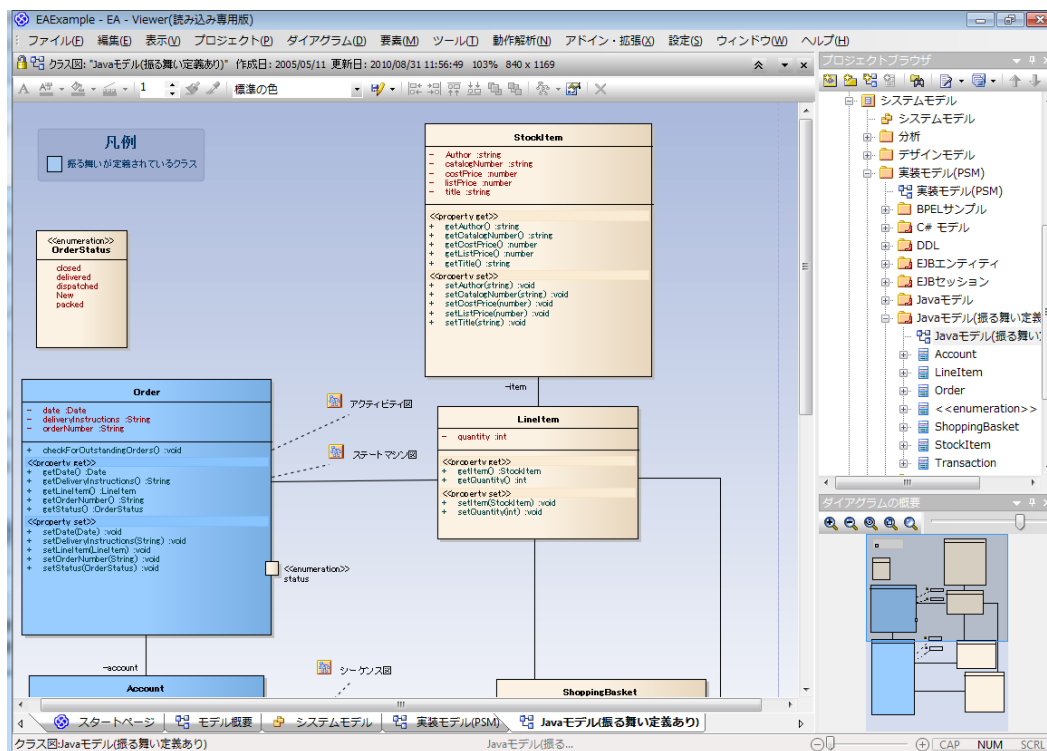
## 5.2 ダイアグラムを開く

ダイアグラムを開くには、プロジェクトブラウザ内の項目をダブルクリックしてください。ダイアグラム表示領域に内容が表示されます。

なお、右図中で赤丸をつけたアイコン  を押すことで以下のような画面が表示され、プロジェクトブラウザ内について指定した単語が含まれるダイアグラムや要素を探すことができます。



次の図は、ダイアグラム(クラス図)を開いた状態の例です。



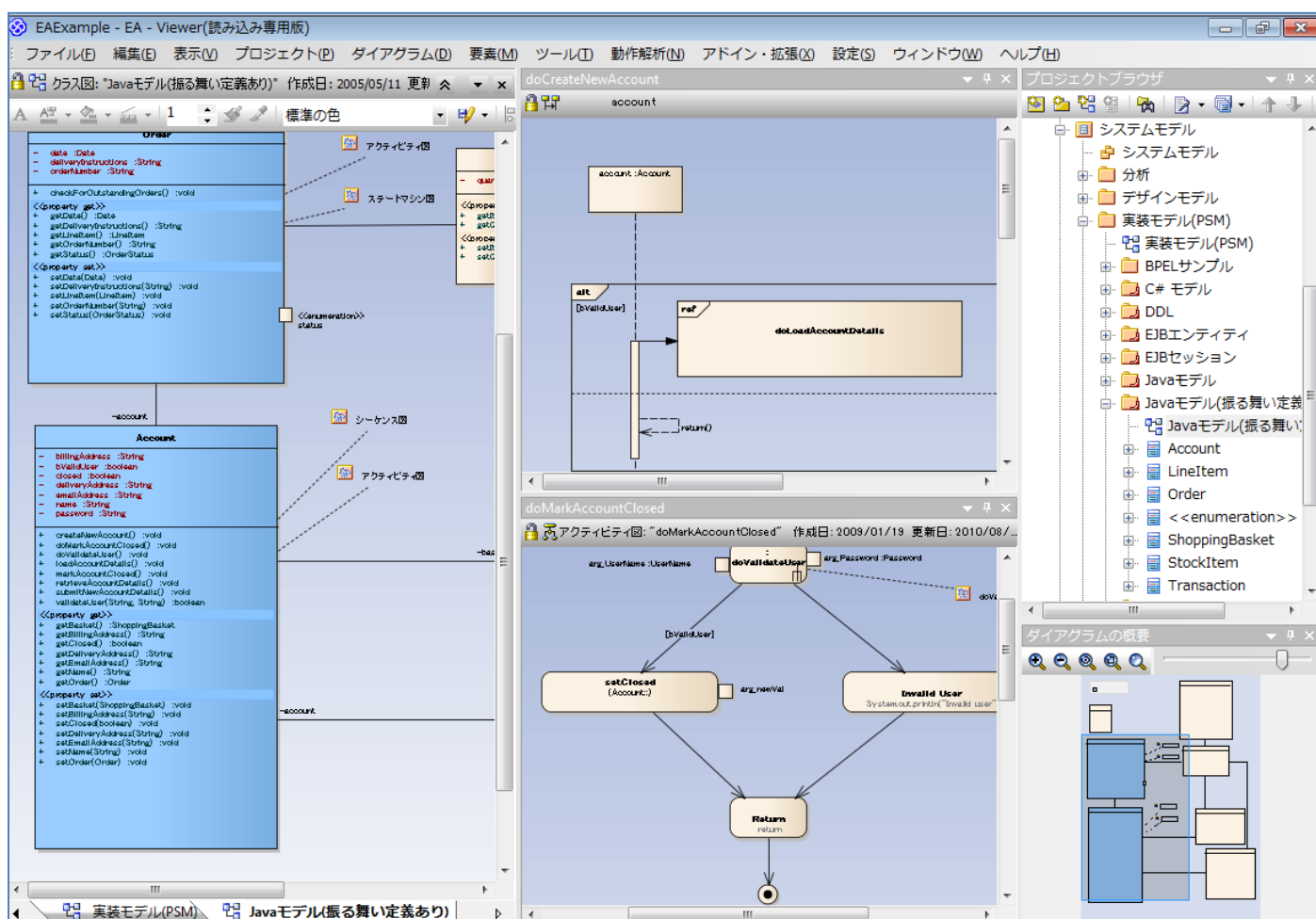
ダイアグラム内の個々の要素について詳細を確認したい場合には、その要素をダブルクリックしてください。プロパティ画面が表示され、詳細を確認することができます。

## 5.3 便利な機能

この読み込み専用版を利用してプロジェクトファイルを参照する場合に便利な機能がいくつかあります。

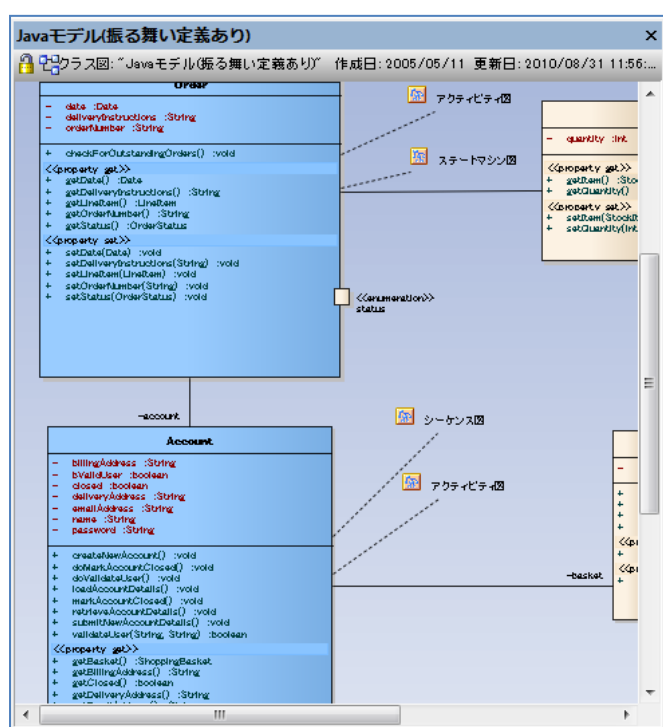
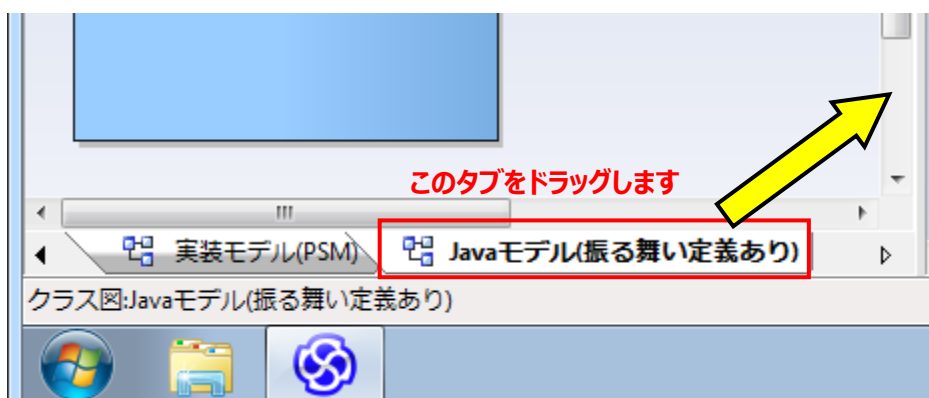
### 5.3.1 複数のダイアグラムを同時に開く

内容を参照する場合に、あるダイアグラムの内容を見ながら、別のダイアグラムの内容を参照したいような場合には、複数のダイアグラムを同時に開くと効率的です。一例として、以下のように構成することができます。



上の例では、全体の構造をクラス図(左半分)で把握しながら、あるクラスの振る舞いをシーケンス図(中央上)およびアクティビティ図(中央下)で把握している場面です。このように、必要に応じて複数のダイアグラムを並べることができます。

複数のダイアグラムを表示するためには、ダイアグラムのタブ(下図)をドラッグします。すると、その次の図のように、独立したウィンドウとして自由な位置に配置できるようになります。



この独立したウィンドウは、自由な位置に配置することができます。また、他のウィンドウやダイアグラム表示領域において、他のウィンドウと並べたり重ねたりすることができます。

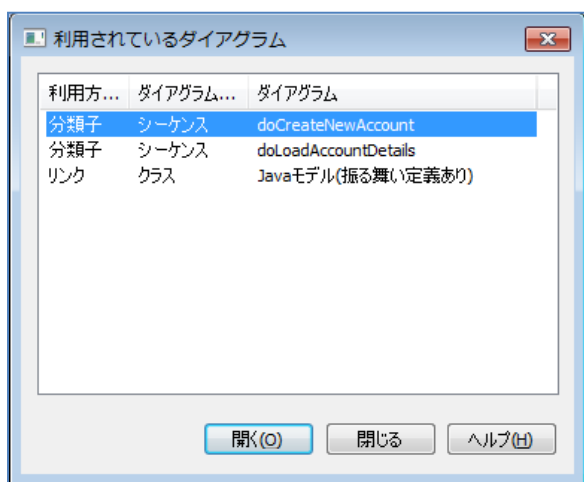
(この操作は Visual Studio と共通の操作になっています。)

### 5.3.2 要素が利用されているダイアグラムを探す

プロジェクトブラウザ内やダイアグラム内において、ある要素がどこのダイアグラムで利用されているかを簡単に探す方法があります。

プロジェクトブラウザ内の要素の場合には、右クリックして「利用されているダイアグラム」を選択してください。ダイアグラム内の要素の場合には、右クリックして「検索」→「利用されているダイアグラム」を選択してください。いずれの場合も、その要素が利用(配置)されているダイアグラムが開き、対象の要素が選択された状態になります。

なお、複数のダイアグラムで利用されている場合には、以下のような画面が表示されます。一覧の項目をダブルクリックすることで、そのダイアグラムを開くことができます。



### 5.3.3 全体から検索する

プロジェクトファイル内に多くの要素が格納されている場合には、全体から検索する機能が役に立ちます。メインメニューから「編集」→「検索」を実行すると、下の図のような検索ビューがタブとして開きます。「検索単語」の欄に検索したい文字列を入れると、プロジェクトファイル内の要素を検索できます。状況に応じて、「ルール」を「要素の全てのプロパティ」や「要素名」などに変更すると、検索単語に対して検索する条件が変わります。

